

吉本興業がアジアでの番組制作事業を拡大 ～中華圏最大のエンタメ企業との合弁会社設立に合意～

この度、吉本興業株式会社（本社：大阪市中央区 代表取締役社長：大崎洋）は、アジアにおけるコンテンツ制作及び販売・配給の強化を目的とし、中華圏最大のエンターテインメント企業であるメディア・アジア社（本社：香港 チェアマン：ピーター・ラム）、コンテンツランド社（本社：香港 代表取締役社長：ジョニー・ヨウ）と合弁会社を設立することとなりました。

「メディア・アジア社」は、香港を拠点に、映画、テレビドラマをはじめ、音楽ライブ、タレントマネジメント、デジタルコンテンツ制作などエンターテインメント業界において多岐にわたる事業を展開する中華圏最大のコンテンツプロバイダーです。

「コンテンツランド社」は香港を拠点に番組制作、テレビチャンネル運営などを行う会社で、香港および中国、シンガポール、タイ、マレーシア等のアジア各国の大手メディアと強固なネットワークを保有しています。

吉本興業は中国、台湾、韓国、アメリカに続き、昨年タイに支社設立、シンガポールに駐在員を派遣するなど、近年、中国や東南アジアでの事業展開を拡張しております。今回の合弁会社設立によって、弊社とメディア・アジア社が持つ制作力を活かしたコンテンツ制作を行い、コンテンツランド社の保有するアジア全域での大手メディアとのネットワークを活用して販売を行っていきます。

中華圏や東南アジアに向け、コンテンツの制作、配給事業やプロモーションまでワンパッケージで行うことで、これまでになかった規模とスピード感で映像コンテンツのアジア流通に弾みをつけます。さらに、この魅力的なビジネススキームを活用してアジアの有力なコンテンツファンからの出資を募っていきます。

また、すでに今回の合弁会社設立に先立って、弊社とメディア・アジア、コンテンツランドの3社は、香港の地上波局 TVB とともに渡辺直美主演のショートフィルム「和田一号」を制作しました。このショートフィルムは、同局で2月16日に放送され、25%（占有率95%）という高い視聴率を記録しております。

メディア・アジア社 概要



- ・ 本社：香港
- ・ チェアマン：ピーター・ラム
- ・ 業務内容

メディア・アジア・グループ・ホールディングス(ストックコード 8075)は香港のグロース市場に上場しています。アジアで最も多様な中華エンターテインメントプロバイダーとして、主に映画の制作・配給、ドラマシリーズの制作・配給、コンサートやライブの運営・制作、音楽の制作・出版、タレントマネジメント、ニュースメディアへのコンテンツ提供、新しいメディアや関連事業の運営、ライブ事業やエンターテインメント事業のコンサルティングサービスを行っています。

映画事業においては、中国の歴代 1 位の興業成績を収めた「唐山大地震 -想い続けた 32 年-」(2010 年)や「インファナル・アフェア」(2002)、「頭文字 D THE MOVIE」(2005 年)をはじめ、これまで約 200 本の映画を制作。また、ベネチア国際映画祭、カンヌ国際映画祭で審査員を務めた経験もあるジョニー・トー監督のエージェント業務も務めております。

コンテンツランド社 概要



- ・ 本社：香港
- ・ 代表取締役社長：ジョニー・ヨウ
- ・ 業務内容

香港、中国大陸、アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド等各国の大手メディアとの良好なネットワークと協力関係のもと、日本を中心とするアジア圏の高画質なテレビ番組を東南アジア及び他の国際市場へと進出させていく。番組の販売、ハイビジョンチャンネルのプロデュース、チャンネルの運営、宣伝及び広告業務を担当する。

- ・ ジョニー・ヨウ プロフィール

テレビ業界のベテラン、30年以上のテレビメディアの経験を積み、電視廣播衛星有限公司(TVB Satellite Broadcasting Ltd.)でCEOを担当し、香港及び海外のテレビ業界の経験が豊富である。2002年に媒體智库有限公司を設立し、チャンネル運営の戦略顧問、チャンネルの設立、番組及びチャンネルの開設などの業務を行いシンガポール、マレーシア、日本、オーストラリア及び中国でテレビ事業に成功を収めた。番組の開設地域は香港、中国大陸、アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなど、数多くの国に進出した。設立したチャンネルは深圳衛視、深圳公共チャンネル、深圳国際衛視チャンネル及び東風なども含め、中国大陸及び全世界数多くの地域まで事業を拡げた。

吉本興業の主な海外事業展開

海外 6 拠点でワールドワイドに展開

【中国での展開】

上海メディアグループ（SMG）との共同番組制作をはじめ、上海・北京を中心に多面的な取り組みを推進。2011年10月にSMG（上海メディアグループ）と共同で、上海吉本文化伝播有限公司（上海吉本エンタテインメントメディア有限公司）を設立し、視聴者数3億人を誇る「チャンネルヤングクルー」を企画から携わって共同運営を行っています。2011年1月からは上海SiTVの番組「東京我最行」を共同で企画制作。

【台湾での展開】

2012年4月、2013年3月には台湾、中国本土、アジア諸国で「日本のファッション・メイク、およびその商品などと、「女性が可愛くなるテクニックやメソッド」を合わせて紹介・プレゼンする、ショーと現地メディアが連携した新しい形のイベントとして実施。日本のファッション誌を現地で発刊する大手出版社と協業し、プラットフォームを構築しました。

このイベントで築いた現地でのメディアリレーションにより、2013年3月～5月、台湾大手テレビ局「東森テレビ局」と共同で、ファッションバラエティ番組を制作。さらに同年11月には、地上波「民視」にてファッションを切り口とし、日本のビューティーやグルメ、観光を紹介する「流行新勢力」をスタート。初回放送は、バラエティ枠1位、全体でも2位の高視聴率を記録。

【韓国での展開】

2011年9月、KBS（韓国国営放送）と日本の芸人と韓国の芸人がお笑い対決で戦う番組「コメディ日韓戦」共同制作し、ゴールデンタイムに放送され週間視聴率2位を獲得しました。

2013年にはSMエンターテイメント社との包括的な事業を開始し、TBS『パフォーマンスZ』の第一弾オーディションとして、大人気グループSHINeeのダンスメンバーオーディションを開催。

【タイでの展開】

2012年10月 タイで人気のコメディアン「サラネア」とよしもと芸人が共同で「お笑い」をキーワードにした映画の企画開発を行い、2012年10月にタイで公開。第5回「沖縄国際映画祭」にも出品。さらに2014年1月からは、日本テレビ、タイの制作会社Kantalucksとともに、人気クイズゲームバラエティ「TORE！」のローカライズ版を共同制作。

【アメリカでの展開】

2008年9月、米国最大手のタレントエージェンシーであるCAA（クリエイティブ・アーティスト・エージェンシー）と戦略的提携関係を構築。日本の放送局、英米の大手制作会社、作家およびタレントをパッケージングして、世界のマーケットを前提とした番組フォーマットの開発を企画から共同で立ち上げ、そのフォーマットを海外に販売するモデルを展開しています。

【グローバル展開】

ー吉本東風衛視（衛星放送事業）

2010年5月

吉本興業グループがアジア圏でさらなるエンタテインメントのネットワーク拡大を図るべく、2012年5月にアジア発の衛星放送事業に参画。

ーコンテンツ海外流通の円滑化～コンテンツランドとの事業提携

香港コンテンツランド社との事業提携により、日本の映像コンテンツのアジア販売を強力に推し進めるための新たなルートを開拓。これまで各国の放送局ごとに行わざるをえなかった番組販売の窓口を、コンテンツランド社に一元化し、ワンストップでアジア各国に販売することが可能になりました。